

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	ドイツ語		
科目基礎情報								
科目番号	0168			科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	環境都市工学科			対象学年	5			
開設期	通年			週時間数	1			
教科書/教材	Andrea Raabほか『時事ドイツ語 2019年度版』朝日出版社、2019年							
担当教員	亀山 太一,中川 拓哉							
到達目標								
① 単語を見て発音できるようになる。 ② 既習の文法知識を定着させるとともに、さらに高度な文法事項を理解する。 ③ 作文力と読解力を養成するとともに、コミュニケーション（会話や E メール交流等）ができるよう、基礎学力を身につける。 ④ ドイツ語圏の人々の生活、文化、習慣について知識と洞察力を得るとともに、日独、日欧の文化を比較検討する。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
単語を見て発音できるようになる	単語を見て発音する問題を正確に解くことができる。			単語を見て発音する問題をほぼ正確に解くことができる。		単語を見て発音ができない。		
既習の文法知識を定着させるとともに、さらに高度な文法事項を理解する	学習対象とした基礎的な文法事項に関する問題を正確に解くことができる			学習対象とした基礎的な文法事項に関する問題をほぼ正確に解くことができる		学習対象とした基礎的な文法を理解していない。		
作文力と読解力を養成するとともに、コミュニケーション（会話や E メール交流等）ができるよう、基礎学力を身につける	文の構造理解、テキストレベルの読解力、作文力、基本的コミュニケーションに関する問題を正確に解くことができる。			文の構造理解、テキストレベルの読解力、作文力、基本的コミュニケーションに関する問題をほぼ正確に解くことができる。		文の構造を理解してテキストレベルの読解力を獲得できず、作文力を獲得せず、基本的コミュニケーションができない。		
ドイツ語圏の人々の生活、文化、習慣について知識と洞察力を得るとともに、日独、日欧の文化を比較検討する。	ドイツ語圏の文化や生活の理解、日独、日欧の文化比較に関する問題を正確に解くことができる。			ドイツ語圏の文化や生活の理解、日独、日欧の文化比較に関する問題をほぼ正確に解くことができる。		ドイツ語圏の文化や生活を理解し、日独、日欧の文化比較ができない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	前年度に学習した内容に加え、より高度なドイツ語の語彙、文法等について理解を深める。							
授業の進め方・方法	初年度よりも高度な教材を使用し、演習形式の授業を行う。							
注意点	毎回課題提出と添削指導がある。添削結果を吟味し、理解を深めること。							
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	第 1 回：復習 1：動詞の変化、構文			テキストの読解ができる。動詞の変化が理解できる。		
		2週	第 2 回：復習 2：冠詞・代名詞の格変化			冠詞・代名詞の格変化が理解できる。		
		3週	第 3 回：復習 3：助動詞、形容詞			助動詞・前置詞が理解できる。		
		4週	第 4 回：復習 4：現在完了形			テキストの読解ができる。現在完了形が理解できる。		
		5週	第 5 回：テキストの読解、従属接続詞 1			従属接続詞 1 が理解できる。		
		6週	第 6 回：表現練習 再帰動詞			従属接続詞 2 が理解できる。		
		7週	第 7 回：テキストの読解、受動態 1			テキストの読解ができる。受動態 1 が理解できる。		
	8週	第 8 回：表現練習、受動態 2			受動態 2 が理解できる。			
	2ndQ	9週	第 9 回：テキストの読解、関係代名詞 1			テキストの読解ができる。関係代名詞 1 が理解できる。		
		10週	第 1 0 回：表現練習、関係代名詞 2			関係代名詞 2 が理解できる。		
		11週	第 1 1 回：テキストの読解、zu不定詞 1			zu不定詞 1 が理解できる。		
		12週	第 1 2 回：表現練習、zu不定詞 2			zu不定詞 2 が理解できる。		
		13週	第 1 3 回：ドイツの社会事情について			テキストの読解ができる。ドイツの社会事情が理解できる。		
		14週	第 1 4 回：表現練習、ここまでの学習内容の復習			表現練習、ここまでの学習内容を整理できる。		
		15週	期末試験					
16週		第 1 5 回：テストのフィードバック、ドイツの文化について			テストの重要ポイントが理解できる。ドイツの文化について説明できる。			
後期	3rdQ	1週	第 1 6 回：前期の復習 1：従属接続詞			従属接続詞 1 が理解できる。		
		2週	第 1 7 回：前期の復習 2：受動態			テキストの読解ができる。受動態を使った表現ができる。		
		3週	第 1 8 回：前期の復習 3：zu不定詞			zu不定詞が理解できる。		
		4週	第 1 9 回：教科書Lektion1を読む。 1			テキストLektion1の内容を理解する。表現の使い方を理解する。		
		5週	第 2 0 回：教科書Lektion1を読む。 2			テキストLektion1の内容を理解する。表現の使い方を理解する。		
		6週	第 2 1 回：教科書Lektion2を読む。 1			テキストLektion2の内容を理解する。表現の使い方を理解する。		
		7週	第 2 2 回：教科書Lektion2を読む。 2			テキストLektion2の内容を理解する。表現の使い方を理解する。		
		8週	第 2 3 回：教科書Lektion3を読む。 1			テキストLektion3の内容を理解する。表現の使い方を理解する。		
	4thQ	9週	第 2 4 回：教科書Lektion3を読む。 2			テキストLektion3の内容を理解する。表現の使い方を理解する。		

		10週	第 2 5 回：映画『新しき土』を見る。戦間期の日独関係	日独関係の歴史について理解する。
		11週	第 2 6 回：教科書Lektion4を読む。 1	テキストLektion4の内容を理解する。表現の使い方を理解する。
		12週	第 2 7 回：教科書Lektion4を読む。 2	テキストLektion4の内容を理解する。表現の使い方を理解する。
		13週	第 2 8 回：表現のまとめ、ドイツ語作文の練習	これまでの学習事項を用いて作文することができる。
		14週	第 2 9 回：表現練習、ここまでの学習内容の復習	表現練習、ここまでの学習内容を整理できる。
		15週	期末試験	
		16週	第 3 0 回：テストのフィードバック、ドイツの文化について	テストの重要ポイントが理解できる。ドイツの文化について説明できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	400	200	600
試験	400	200	600
専門的能力	0	0	0